

こころ育てる絵本との出会い

マクちゃん通信

2011 6 - 7 vol. 8

絵本原画展

長谷川義史

特集

ヒーローの絵本



は せ が わ よ し ふ み
長谷川 義史



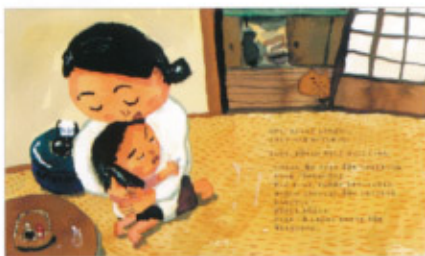
「みんなに笑顔で楽しくなってほしいです」
のびやかな筆使いにコテコテの色使い
「なにわ」の人情と風情あふれる絵本を
思いっきり楽しんでください！

長谷川 義史(はせがわ よしふみ)プロフィール

1961年大阪府藤井寺市生まれ。グラフィックデザイナーからイラストレーターへ。
現在は絵本作家として、ユーモラスでおおらかな長谷川ワールドを次々と生み出す。
『おたまたさんのおかいさん』(解放出版社)で第34回講談社出版文化賞絵本賞受賞。
『かあちゃんかいじゅう』(ひかりのくに)で第14回けんぶち絵本の里大賞受賞。
『ぼくがラーメンたべてるとき』(教育画劇)で日本絵本賞と第57回小学館児童出版文化賞受賞。
『いいから いいから③』(絵本館)で第19回けんぶち絵本の里大賞受賞。

絵本原画展開催

6月1日(水)～7月28日(木)



『しげちゃん』
(金の星社)



『いいから いいから④』
(絵本館)



『大阪うまいもののうた』
(佼成出版社)

原画
展示
絵本

この夏のギャラリーでは歌と一緒に楽しめる『大阪うまいもののうた』
人気シリーズ『いいから いいから』、そして新刊『しげちゃん』の絵本原画をご紹介します。

長谷川義史先生に インタビュー



絵本作家になられたきっかけは？

よく描いた小劇場の劇団のチラシの絵を見た編集者のMさんが絵本を描きませんかと声をかけてくれました。

画材は何を使っていらしゃいますか？
アクリルグアッシュ、紙はいろいろ使い分けています。筆と絵の具でこてこてとアナログです。

今回、絵本原画展を行う絵本の制作秘話
や思い出を教えてください。

『大阪うまいもののうた』大阪のこども
たちが歌って踊っている歌を絵本にしま
した。

『いいから いいから④』忍者が出てくる
のですが、これは石巻市立釜小学校の子
どもたちのリクエストです。



『大阪うまいもののうた』
(佼成出版社)

『しげちゃん』女優室井滋さんの文章で
室井さんの幼い頃のご自分の名前にまつ
わるお話です。

今まで手がけられた絵本の中で、一番印
象深い絵本を教えてください。

みんな自分の子どもたちのようなもので
すから、それが一番ということはいえま
せんが、あえて言えばデビュー作の『お
じいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん』
のおじいちゃん”でしょうか。初めて
の絵本で、とても難産でした。



『おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん』
(BL出版)

絵本をお作りになるときのこだわりは？
できるだけ、のびやかにいい絵を描きた
いと思っています。できていませんが。

絵本ライブで伝えられたことは？

みんなに笑顔で楽しくなってほしいです。

今後どのような絵本を描いていきますか？

それは自分でもわかりません、どうなっ
て行くのでしょうか。これからどんな絵本
を描くのか自分でも楽しみにしています
でも今年は思いの深い絵本、そして楽し
い絵本をたくさん出す予定です。

ご趣味についてお聞かせください。

自転車で走るのが好きです。まじのやつ
ね、ロードレーサーでビスタチオみたい
なヘルメットかぶってね。溪流釣りも好
きですが忙しくてなかなか行けません。

好きな言葉を教えてください。

それはもう『いいから いいから』です。

ファンの皆さんへメッセージをお願いします。

あれも描きたい、こんなのも描きたいと
いっぱいいます。楽しい笑える絵本やまた
へーとびつくりするような読者の方を
裏切るようなそんなドキドキな絵本を描
きたいです。いつも同じじゃないやつを
そんな絵本を描いて全国に絵本のライブ
にいきます。



長谷川義史先生、ありがとうございました！

長谷川義史絵本ライブ開催！！ 特別ゲスト室井滋(女優)

日時 7月9日(土) 14:00～16:00

場所 射水市大島絵本館シアター

料金 大人／1,500円 小中学生／600円

長谷川義史さん、室井滋さんが絵本館にご来館。
絵本の読み聞かせだけでなくウクレレ演奏や歌も聞ける楽しい
時間です。ライブ終了後にはサイン会もありますよ。

長谷川義史先生サイン入りの 絵本を3名様にプレゼント

応募方法 氏名、住所、電話番号をご明記のうえ、
ハガキでご応募ください。

あて先 〒939-0283 射水市鳥取50 射水市大島絵本館
「長谷川義史サイン本プレゼント係」

締め切り 平成23年7月10日 消印有効

※発表は発送をもって代えさせていただきます。



『いいから いいから④』
(絵本館)



渡辺 智子
射水市大島絵本館 主任指導員

特集 / ヒーローの絵本

今昔ヒーロー物語

絵本館では約1200冊の昔話絵本を所蔵している。同じお話でも色々な文と絵があり、選ぶのも楽しい。ところで小さい頃読んだ記憶のある昔話でも、思い出すとすると意外に覚えていないもの。例えば「かちかちやま」は悪いことをしたたぬきがうさぎに火をつけられ逃げて走るシーンは鮮明なのだが、肝心なたぬきの悪さがない。再読したところ、たぬきがお婆さんを殺し、そのばあ汁をお爺さんが知らずに食べてしまうというしまう残酷なものであった。

*

ところで、うちの長男は今のヒーロー好きである。スーパー戦隊、仮面ライダー。新しくなるたびに目を輝かせ、なりきりグッズで変身し、友達が集まると我を忘れて戦いごっこが始まる。彼に「かちかちやま」の世界はどんなふうに見えるだろうか？ と考えた。姿かたちは随分違うが、悪さを働く敵がたぬきであれば、うさぎはヒーローといったところであろう。

*

読んだ当初楽しんだのであるが、その後「あの話は怖い」と言い出した。テレビではどんな恐ろしいシーンでもへっちゃらな息子であるがたぬきの仕打ちがかなり怖かったらしい。どこが違うのだろうか？

考えてみると同じように息子が怖がるものがある。高岡大仏の下に展示されている地獄絵、ヘンゼルとグレーテルの母の言動……。テレビの中の仮想的なものは平気なのに、どうやら「実際にあるかも」「現実に起こるかも」と思えるようなことが怖いのである。

電子メディアと子どもの成長が心配される今日である。テレビやゲームを楽しみ手放すことのできない最近の子ども達を見て、私自身も子育ての不安を感じることがある。しかし問題は電子メディア自身ではなく、仮想と現実の区別をつける感覚を身につけられるかどうかということである。メディア体験に依存し、架空の相手を「倒せば終わる」では、心配であるし、精神の成長も期待できないだろう。

*

昔話には大昔の自然や現実から生まれた怖さが描かれ、それに対峙しようとする勇敢なヒーローが度々登場する。今こそお父さんお母さんが子どもに寄り添い、現実感たっぷりに昔のヒーロー話を語ってあげるといいのではないだろうか。

子どもたちが今昔のヒーロー物語から真の勇気と正義の精神そして知恵を学んで、強く生きてくれることを願って止まないものである。

私のおすすめ絵本

「ぼく、
仮面ライダーになる！
オーズ編」

のぶみ／作
講談社



妹のアンちゃんがかうもり男にさらわれる。怖いけれど、妹を守るのには、ぼくしかいない。正義の味方仮面ライダーオーズと力をあわせ、頑張れ！かんたろう！

「いっすんぼうし」

山下明生／文
山本孝／絵
あかね書房



小さくても勇気と知恵はだれにも負けない。勇敢な一寸法師と迫力満点の鬼の対決。この表紙は手に取らずにはいられません。

「かちかちやま」

おざわとしお／再話
赤羽末吉／画
福音館書店



悪さをしたたぬきに苦しめられるお爺さんとお婆さん。うさぎがお爺さんのために、敵をとる有名な日本昔話。擬人化されたタヌキとウサギの表情、やりとりが面白い。



「アンパンマンたんじょう」
やなせたかし／原作 フレーベル館
生まれて最初に出会うヒーロー、
アンパンマン。



「すっぱんぼんのすけ」
もとしいずみ／作 梶井良二／絵
すずき出版
お風呂上りは傑作一番。裸のヒーロー参上！



「忍者にんにく丸」
川崎誠／作 BL出版
にんにくが主人公？
痛快忍者絵本です。



「おでんざむらい」
内田麟太郎／文 西村繁男／絵
くもん出版
江戸の町に闘い者の味方、
ひらた・おでん参上！



「おとうさんはウルトラマン」
みやにたつや／作・絵 学習研究社
家族を愛し、仕事に燃える。
お父さんはみんなヒーロー。